

バックアップが狙われる時代、 どう守る？

~Veeamでバックアップとランサムウェア対策の両立を実現~

2025/11/27
株式会社クライム
村岡 拓哉



株式会社クライムとは

設立	1984年
従業員数	約30名
主な事業内容	ソフトウェアの販売とサポート 海外ソフトウェアの日本語対応
所在地	本社 : 東京都中央区 大阪営業所 : 大阪市北区 名古屋営業所 : 愛知県名古屋市 福岡営業所 : 福岡県福岡市

アジェンダ

- ・サイバー攻撃の概要
- ・ランサムウェア攻撃の現状とトレンド
- ・Veeamの主なデータ保護手法
- ・Veeamのランサムウェア対策機能

アジェンダ

- ・サイバー攻撃の概要
- ・ランサムウェア攻撃の現状とトレンド
- ・Veeamの主なデータ保護手法
- ・Veeamのランサムウェア対策機能

サイバー攻撃とは

ネットワークを介し、サーバやPC端末に対して**システムの停止**や**データの窃取・改ざん**を行う攻撃

＜攻撃の種類＞

- DDoS攻撃
- マルウェア
- フィッシング

▲ 情報セキュリティ10大脅威 2025 [組織]

順位	「組織」向け脅威	初選出年	10大脅威での取り扱い (2016年以降)
1	ランサム攻撃による被害	2016年	10年連続10回目
2	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃	2019年	7年連続7回目
3	システムの脆弱性を突いた攻撃	2016年	5年連続8回目
4	内部不正による情報漏えい等	2016年	10年連続10回目
5	機密情報等を狙った標的型攻撃	2016年	10年連続10回目
6	リモートワーク等の環境や仕組みを狙った攻撃	2021年	5年連続5回目
7	地政学的リスクに起因するサイバー攻撃	2025年	初選出
8	分散型サービス妨害攻撃（DDoS攻撃）	2016年	5年ぶり6回目
9	ビジネスメール詐欺	2018年	8年連続8回目
10	不注意による情報漏えい等	2016年	7年連続8回目

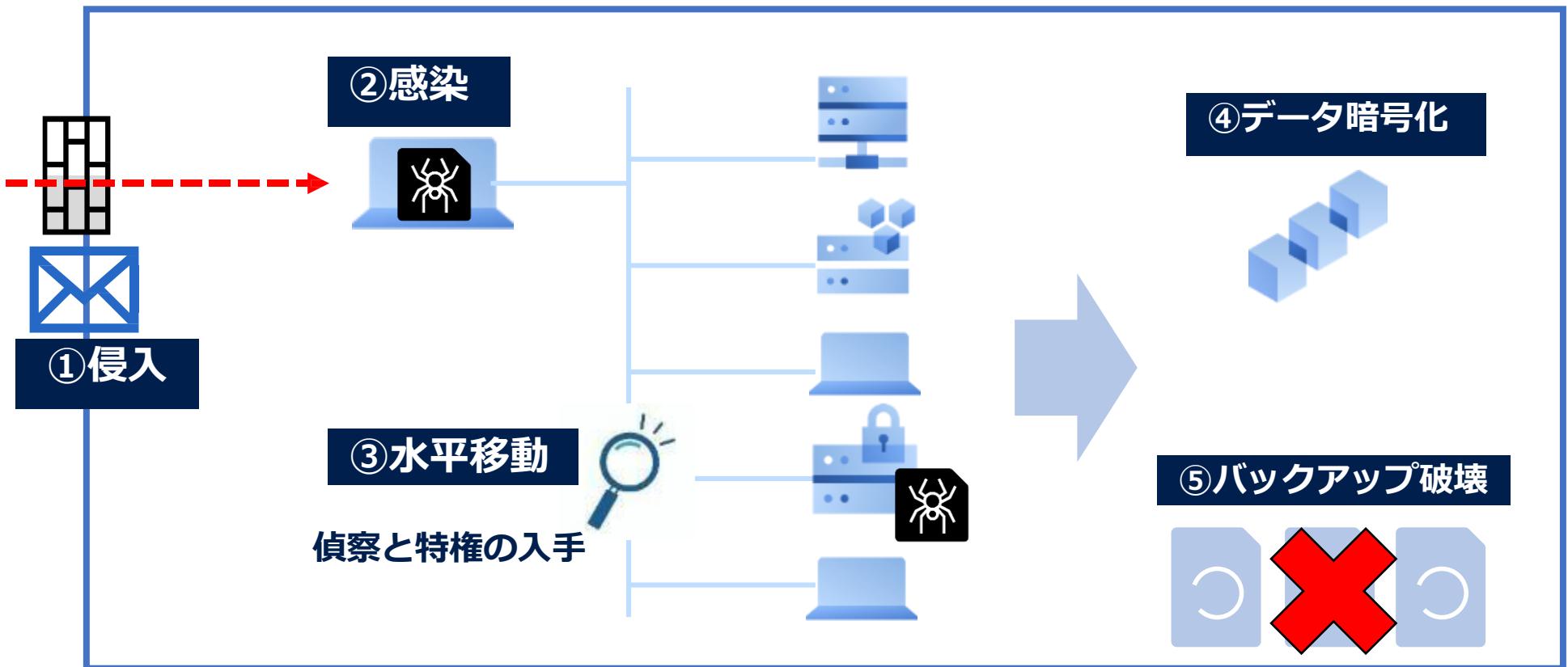
出典：IPA 情報セキュリティ10大脅威 2025

<https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2025.html>

サイバー攻撃の被害例



- VPN装置の脆弱性
- Email経由
- 悪意のあるリンク

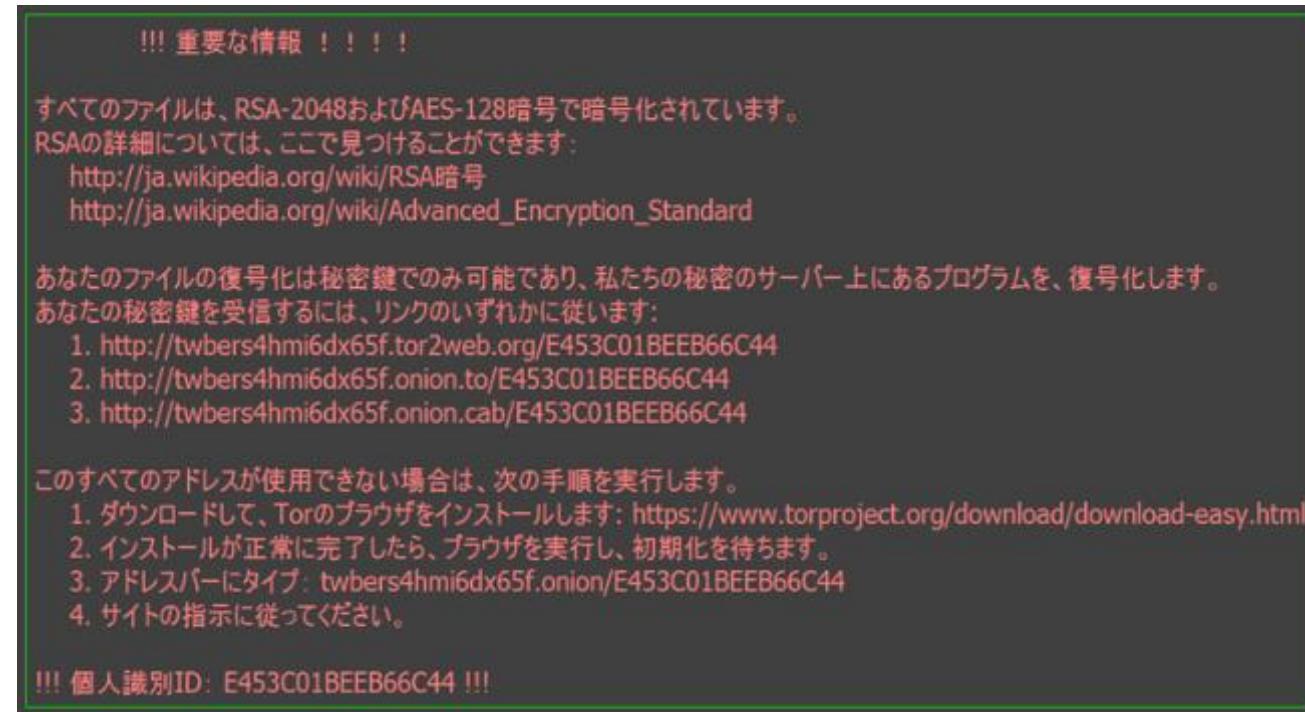


アジェンダ

- ・サイバー攻撃の概要
- ・ランサムウェア攻撃の現状とトレンド
- ・Veeamの主なデータ保護手法
- ・Veeamのランサムウェア対策機能

ランサムウェアとは

端末の**システムロック**や**データの窃取、暗号化**を行い、これらを取引材料とした脅迫により**金銭を要求するマルウェア**の一種



ランサムウェアの攻撃パターン

従来型

- ✓ ばらまき型攻撃
- ✓ ファイルのロックや暗号化
- ✓ マスターブートレコードの書き換え

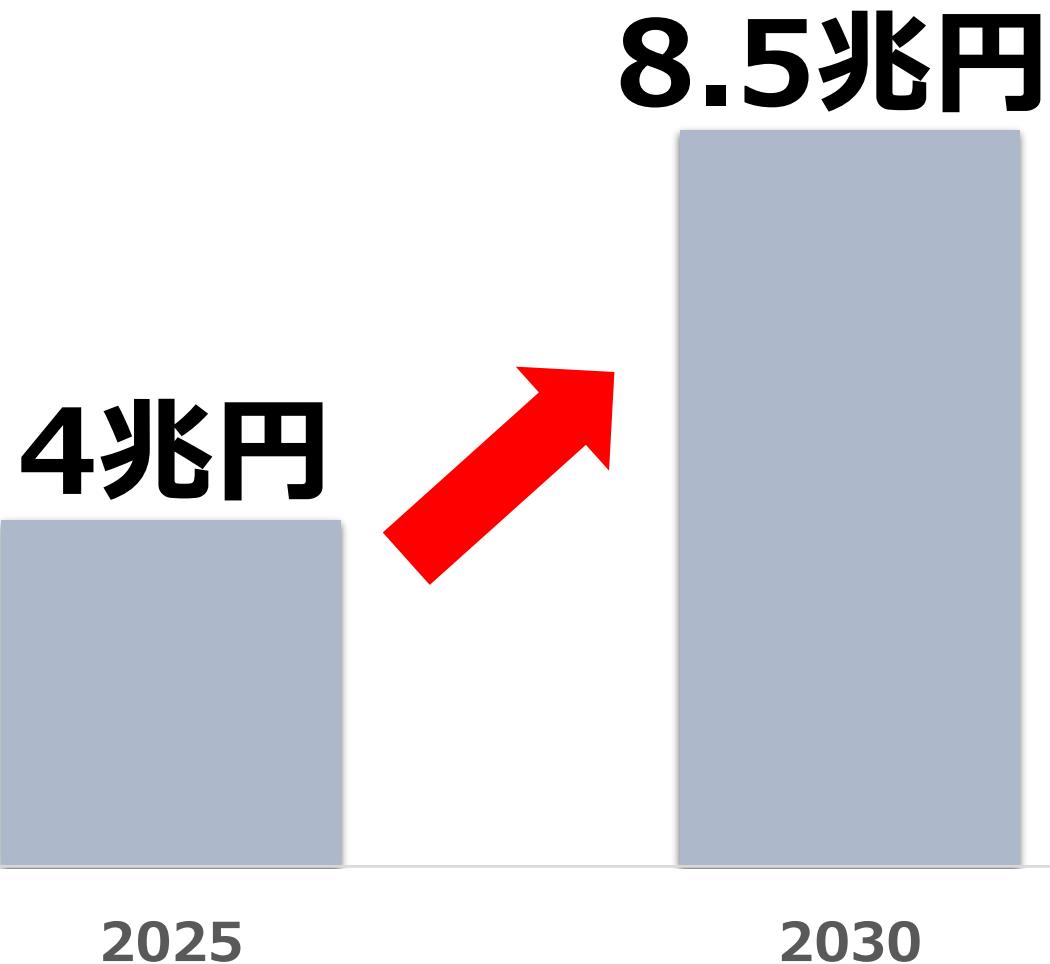
新型

- ✓ 標的型攻撃
- ✓ 二重脅迫
- ✓ ノーウェアランサム
- ✓ RaaS(Ransomware as a Service)を使った攻撃

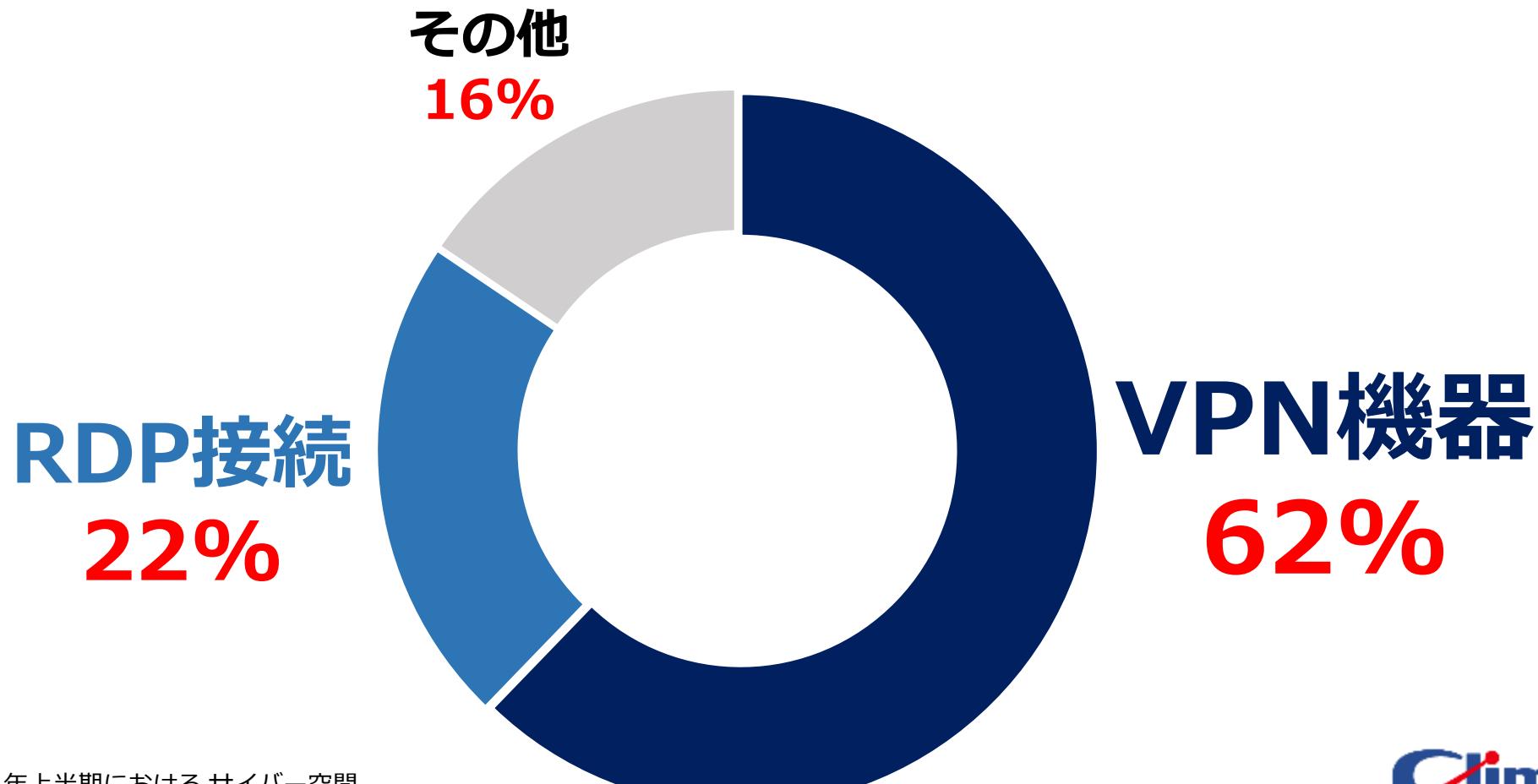


なぜランサムウェアが流行っているのか？

- ランサムウェア市場規模の拡大
- リモートワークで働く人の増加
- RaaSの登場
- AIの悪用
- 追跡が困難



ランサムウェアの感染経路



出典：警察庁 令和7年上半期におけるサイバー空間
をめぐる脅威の情勢等について
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/index.html>

© 2025 Climb Inc.

ランサムウェア被害の現状

222件

被害件数

2024年度に警察庁に報告された
ランサムウェアの被害件数
前年比：112.6%

3億円

身代金要求額

攻撃者から要求される身代金額
の中央値
平均額は約6.48億円

4.1億円

復旧コスト

2024年のランサムウェア攻撃に
対する復旧コスト
前年比：150.1%

出典：警察庁 令和7年上半期における サイバー空間
をめぐる脅威の情勢等について
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/index.html>

© 2025 Climb Inc.

Climb Inc.
Growing to Meet Your Needs

ランサムウェア攻撃のトレンド

1

脅威アクターが法執行機関に適応

2

データ窃取攻撃の増加

3

身代金の支払いケース減少

ランサムウェア攻撃のトレンド

4

身代金支払いに対する法整備

5

運用チームとセキュリティチームの連携強化

6

セキュリティ予算の増加

ランサムウェアの予防策

- OSやソフトウェアを最新の状態に保つ
- 不審なメールの添付ファイルや怪しいリンクを開かない
- 認証情報を適切に管理する
- ユーザ権限やアクセス範囲を限定する
- 公共Wi-Fiを使用しない
- 出所不明なUSBメモリや外付けデバイスを接続しない

ランサムウェアに感染してしまったら…

- ・ネットワークから切り離す

有線LANの場合はケーブルを抜き、無線LANの場合は端末の無線LANをオフ

- ・ランサムウェアの種類を調べて復号

外部の無料Webサイトで、感染したファイルをアップロードすることで、対処方法を提示

- ・バックアップから復元

定期的にバックアップしていれば、そこから戻すことが可能

ランサムウェアに感染してしまったら…

- ・ネットワークから切り離す

有線LANの場合はケーブルを抜き、無線LANの場合は端末の無線LAN

身代金の要求に

- ・ランサムウェアの種類を調べて復号

外部の無料Webサイトで、感染したファイルをアップロードすることで、対処方法を提示

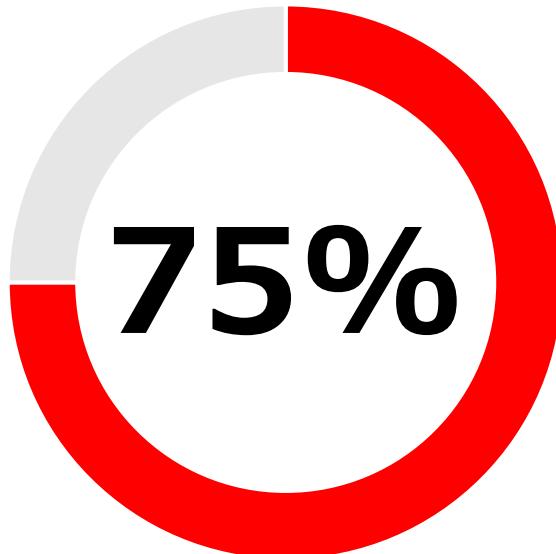
応じない！

- ・バックアップから復元

定期的にバックアップしていれば、そこから戻すことが可能



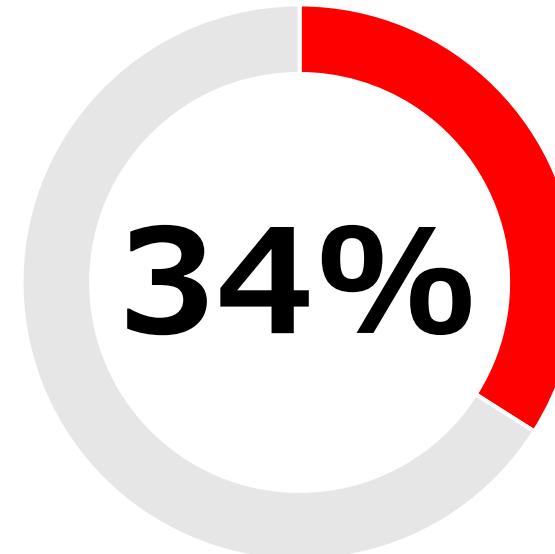
ランサムウェア被害の傾向



過去1年間にランサムウェア被害を受けた企業の割合



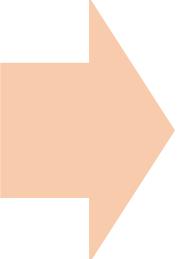
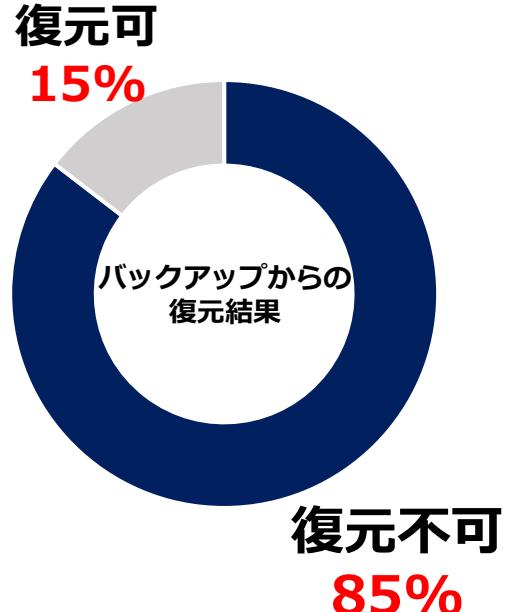
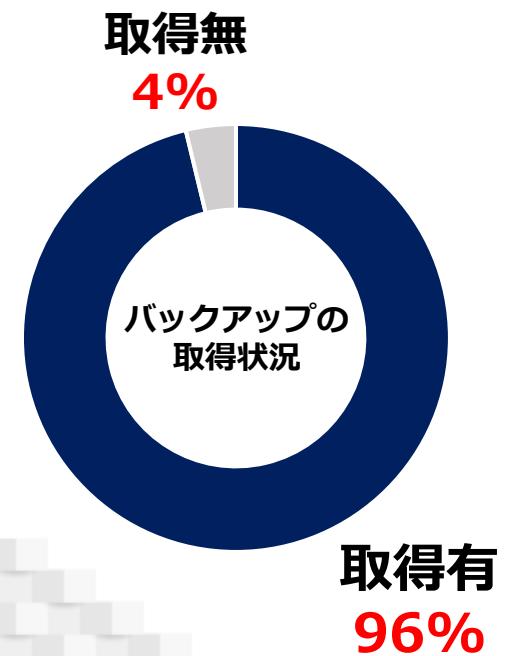
バックアップデータの保存先を標的とした攻撃の割合



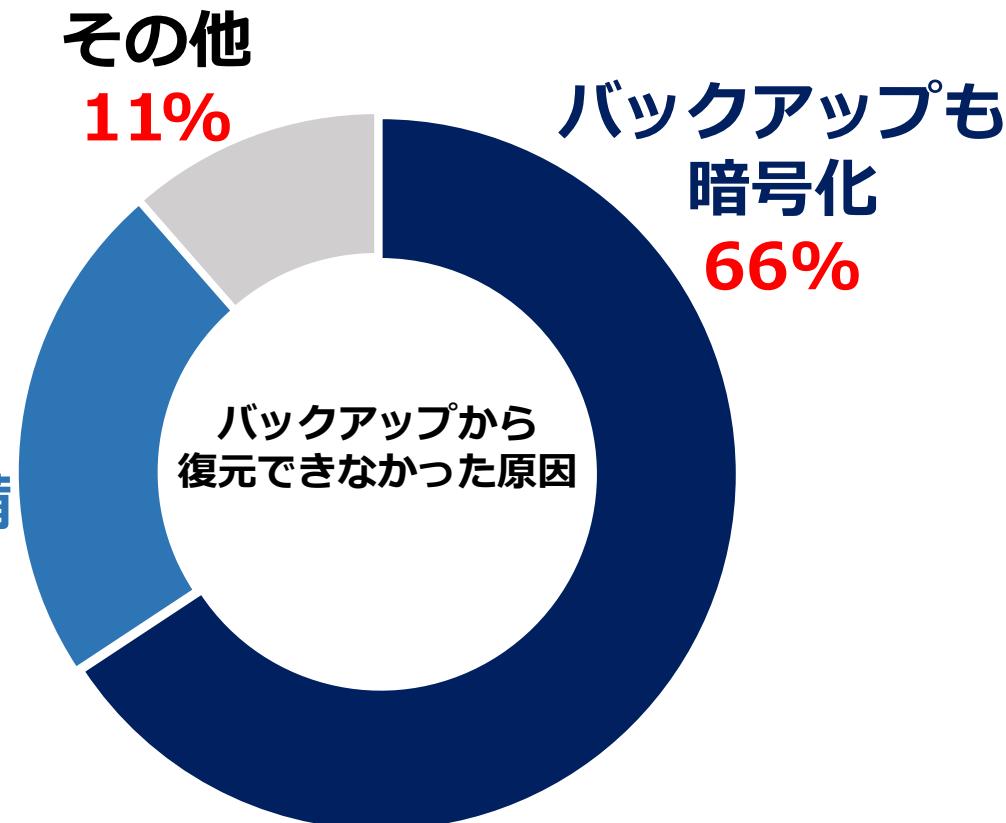
実際にバックアップデータを改ざん/削除された割合

バックアップの暗号化

出典：警察庁 令和7年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/index.html>



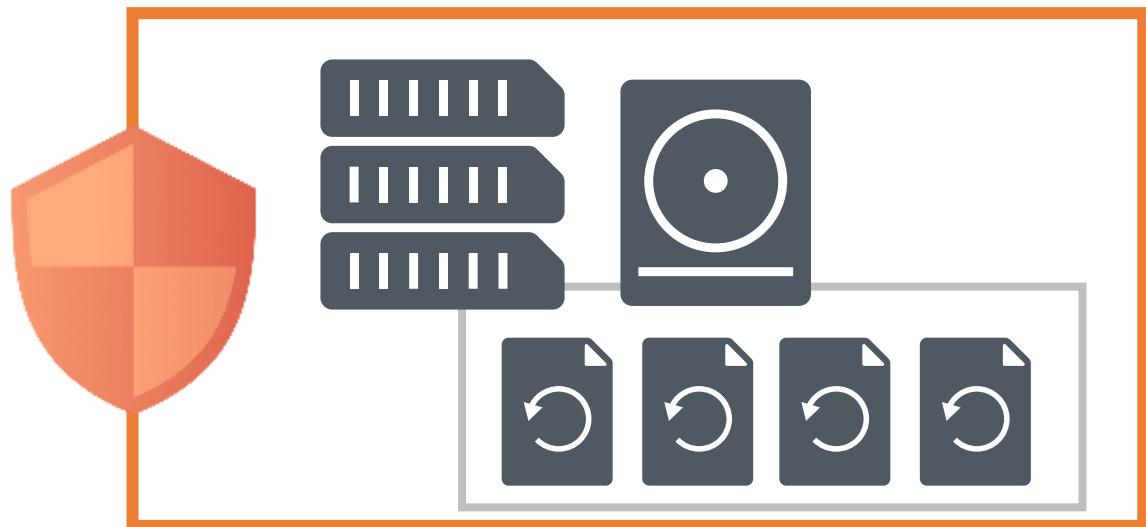
運用不備
23%



ランサムウェアに負けないバックアップ

イミュータブル(変更不可)バックアップが必要

データを変更不可能にして削除や改ざん、暗号化を防ぎ、バックアップデータを保護



アサヒグループHDでランサムウェア被害

2025/9/29にランサムウェアによるシステム障害が発生

- ・国内グループ各社の受注・出荷業務が停止
- ・お客様相談室などのコールセンター業務が停止
- ・財務文書などの内部情報が窃取
- ・個人情報が流出した可能性あり

The screenshot shows a news article titled "サイバー攻撃によるシステム障害について(第2報)" (About System Failure Due to Cyber Attack (Report 2)) dated September 29, 2025. The article discusses the second report on the system failure caused by a cyber attack on September 29, 2025. It states that the company has suffered from a cyber attack and that the company's internal information, including financial documents, was stolen. There is also a mention of the possibility of personal information leakage.

アサヒグループホールディングス

サイバー攻撃によるシステム障害について(第2報)

アサヒグループホールディングス株式会社は、2025年9月29日付で、サイバー攻撃によるシステム障害が発生していることをお知らせいたします。

同日の障害発生時に本端末から上記障害が発生した結果、当社のリバーサイクルウェアによる支店や受取元を確認し次第に該支店の取扱を止めたため、サイバー攻撃の範囲については直接調査を差し控えさせていただきます。現段階で該内部情報を以下に取り扱います。

今後サイバー攻撃を受けたお客様および担当者の方へ個人情報を含む重要なデータの復旧を最優先とし、被害を最小限にとどめため、障害の発生したシステムの運用を差し控えました。

大切な個人情報の漏洩、情報漏洩の可能性を示す指標が確認されました。漏洩の可能性のあった内部機密についても調査中です。

企業への影響

- ・復旧に多大な**時間とコストを消費**
- ・機密データを人質に**身代金を要求される**
- ・顧客や従業員の**個人情報が流出**

復旧に2億円



異例の決算発表困難



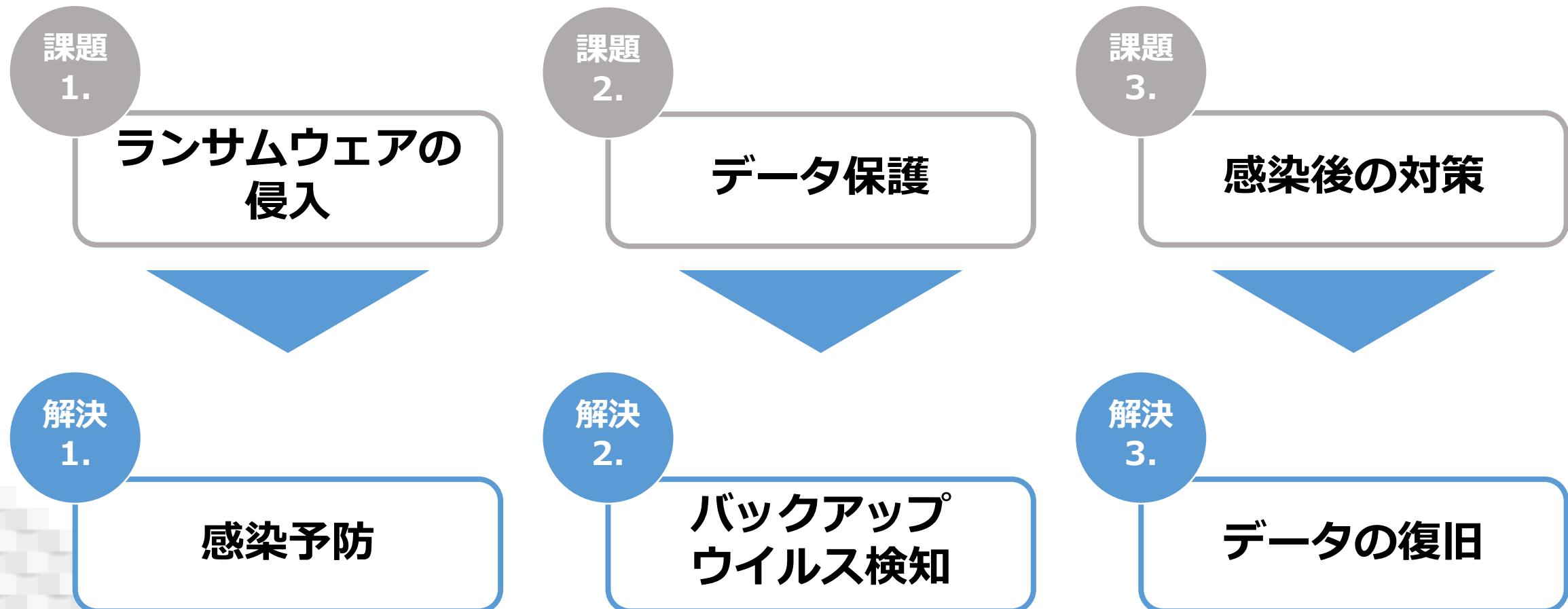
トヨタ系も



情報搾取と晒し



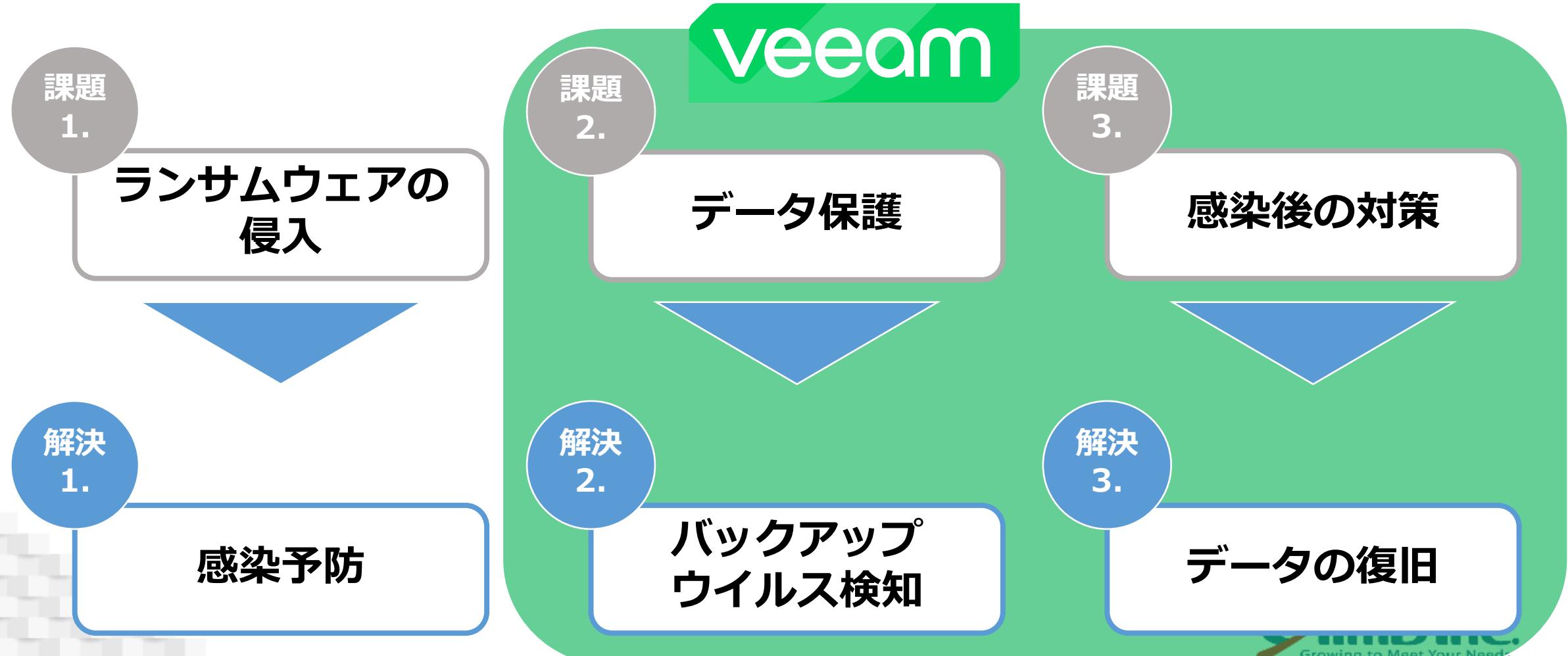
ランサムウェア対策における課題





veeam

ランサムウェア対策における課題



3-2-1-1-0ルール

3 
3つの
データコピー

2 
2つの異なる
メディアに保存

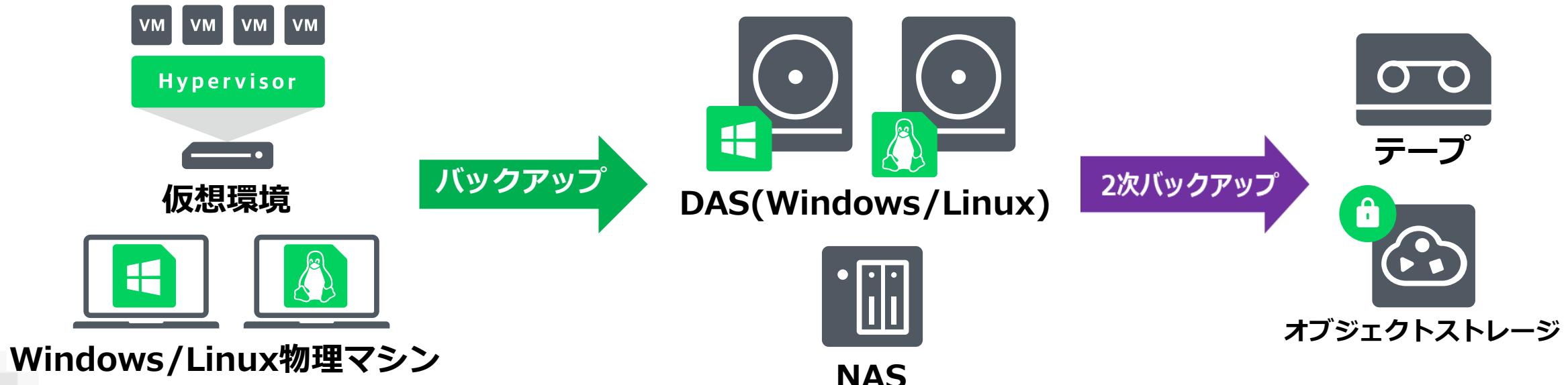
1 
そのうち1つは
オフサイトに保管

1 
そのうち1つは
オフライン
or
イミュータブル

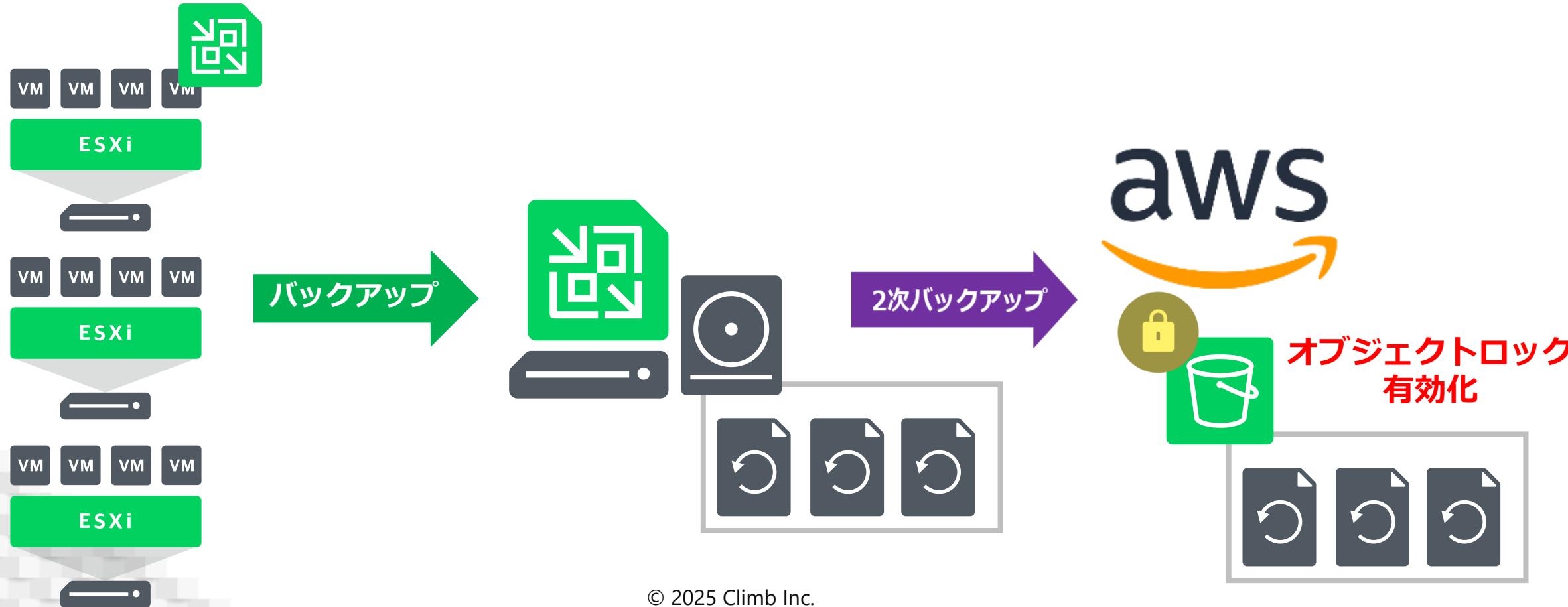
0 
バックアップテスト
リカバリ検証で
エラーを0に

veeam

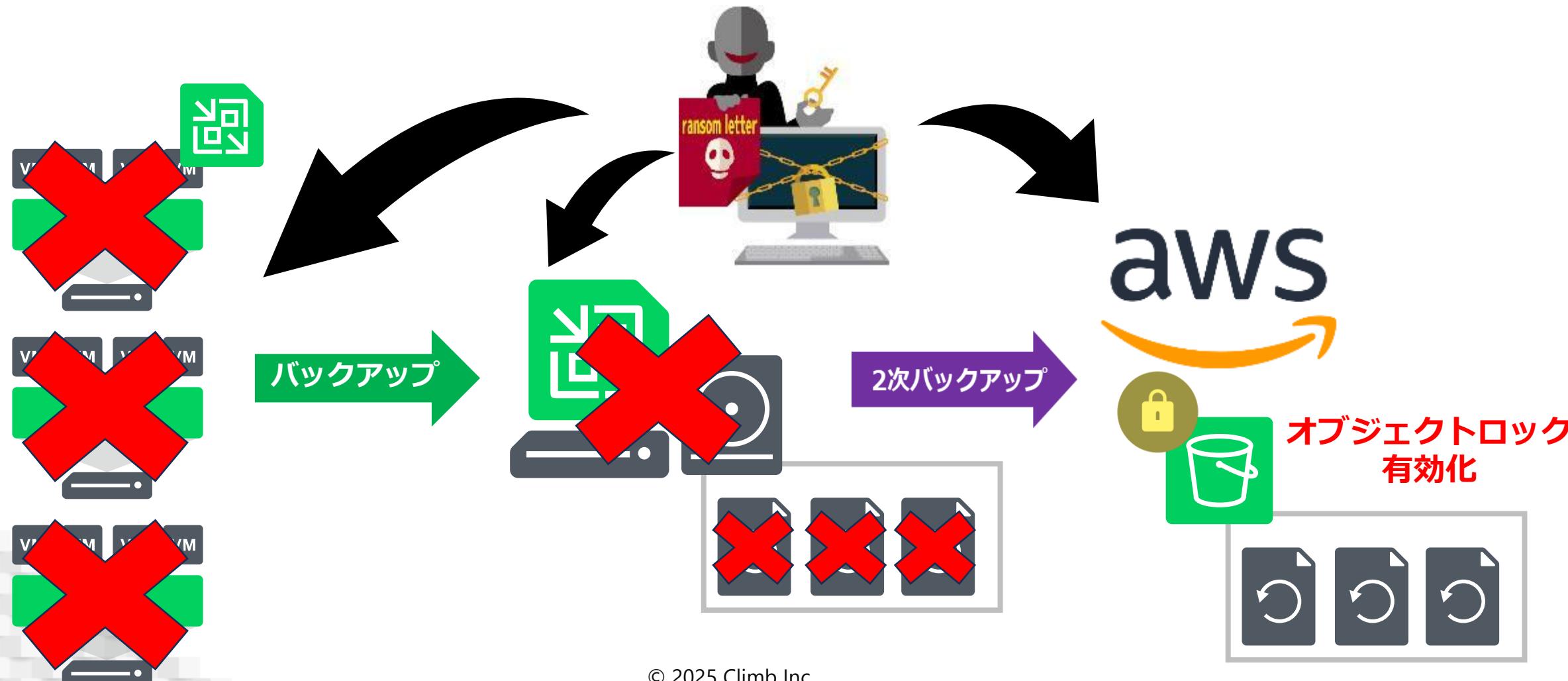
Veeamで実践する3-2-1-0ルール



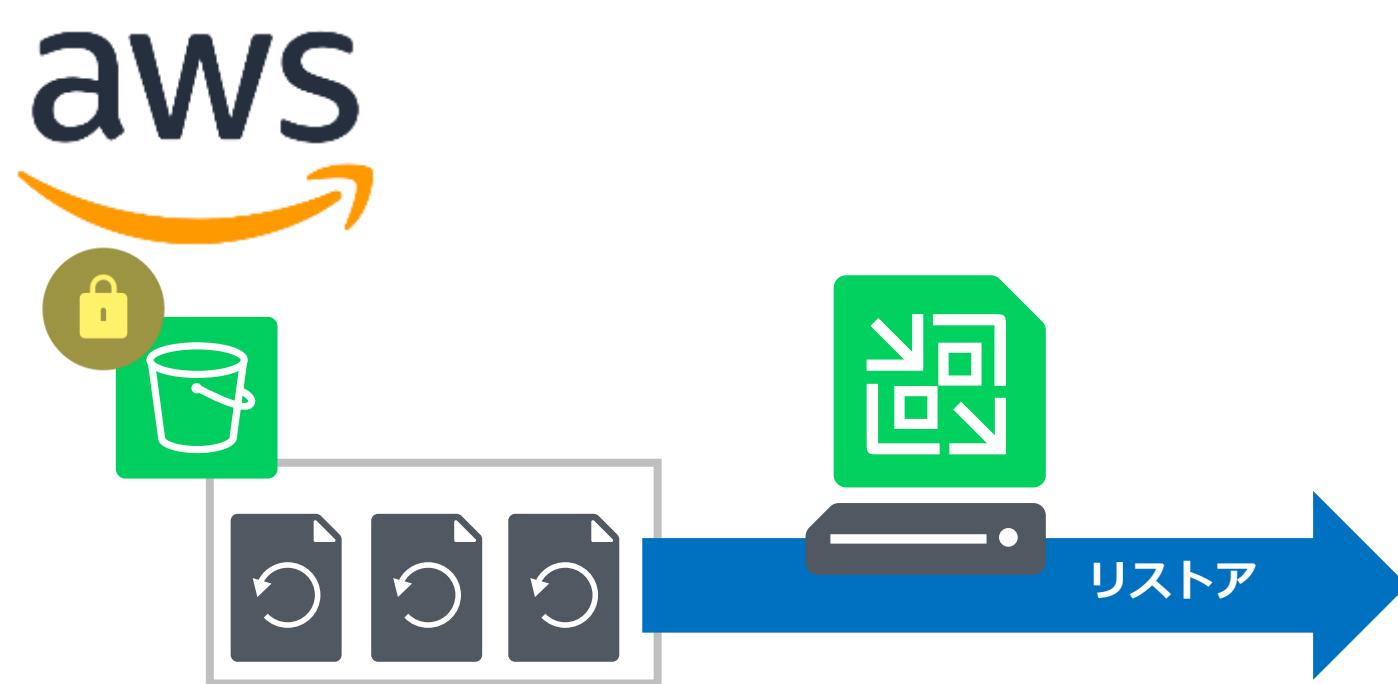
某製造業様の事例



某製造業様の事例



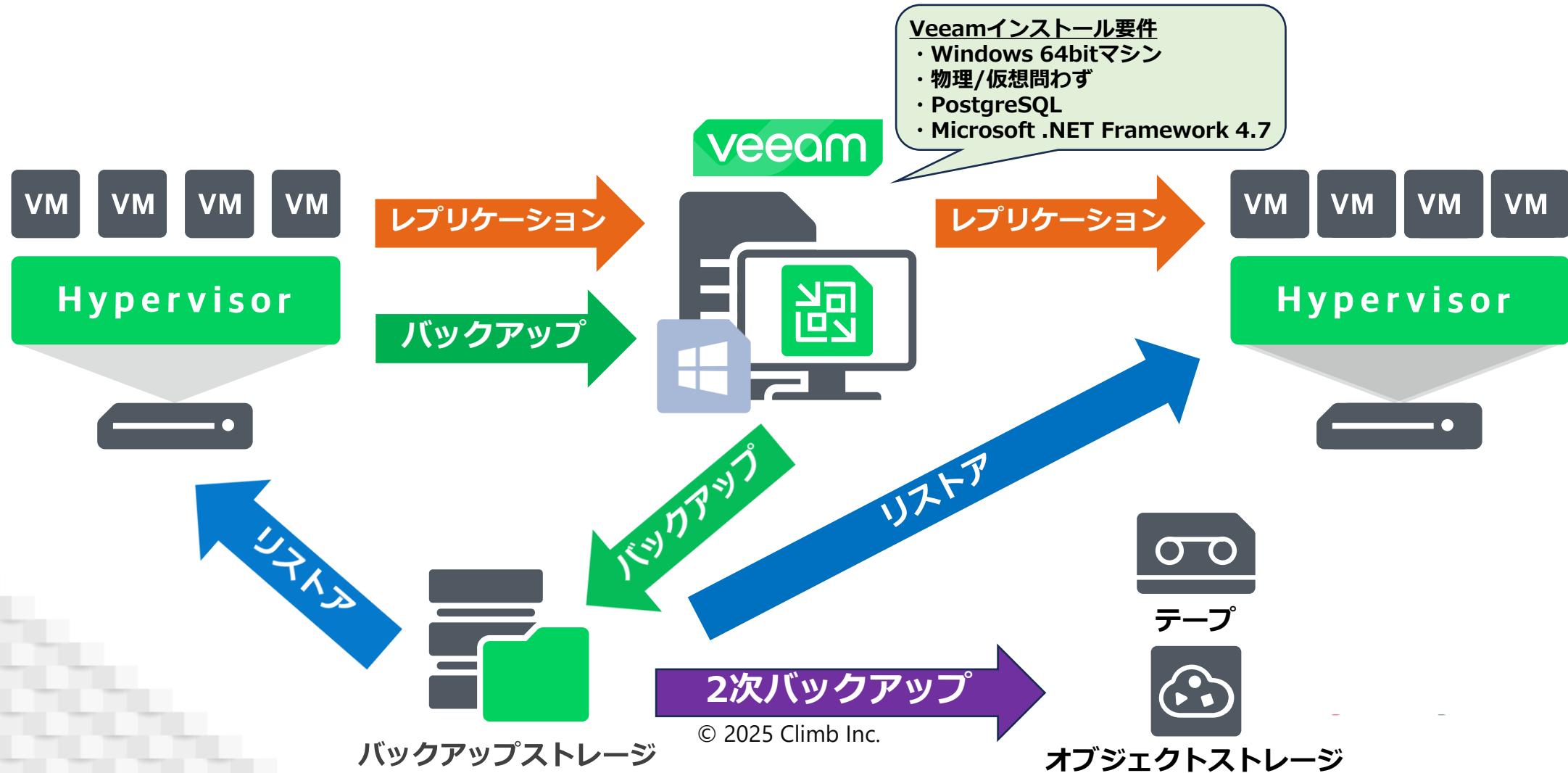
某製造業様の事例



アジェンダ

- ・サイバー攻撃の概要
- ・ランサムウェア攻撃の現状とトレンド
- ・Veeamの主なデータ保護手法
- ・Veeamのランサムウェア対策機能

Veeamのデータ保護



Veeam対応環境

仮想環境

vmware®



PROXMOX



ORACLE
KVM

NUTANIX

物理環境

Windows



solaris

AIX

クラウド環境

aws



Google Cloud



その他

Microsoft 365



kubernetes



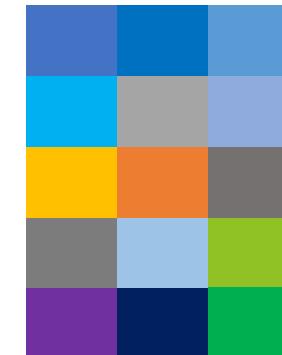
NAS/ファイルサーバー

バックアップ

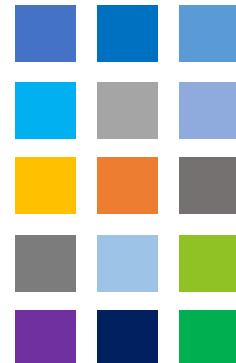
- ・イメージベースでのバックアップ
- ・エージェントレスで利用可能
- ・データを**圧縮**・**重複排除**して転送



重複排除



圧縮



バックアップの保存先



Linux



Google Cloud

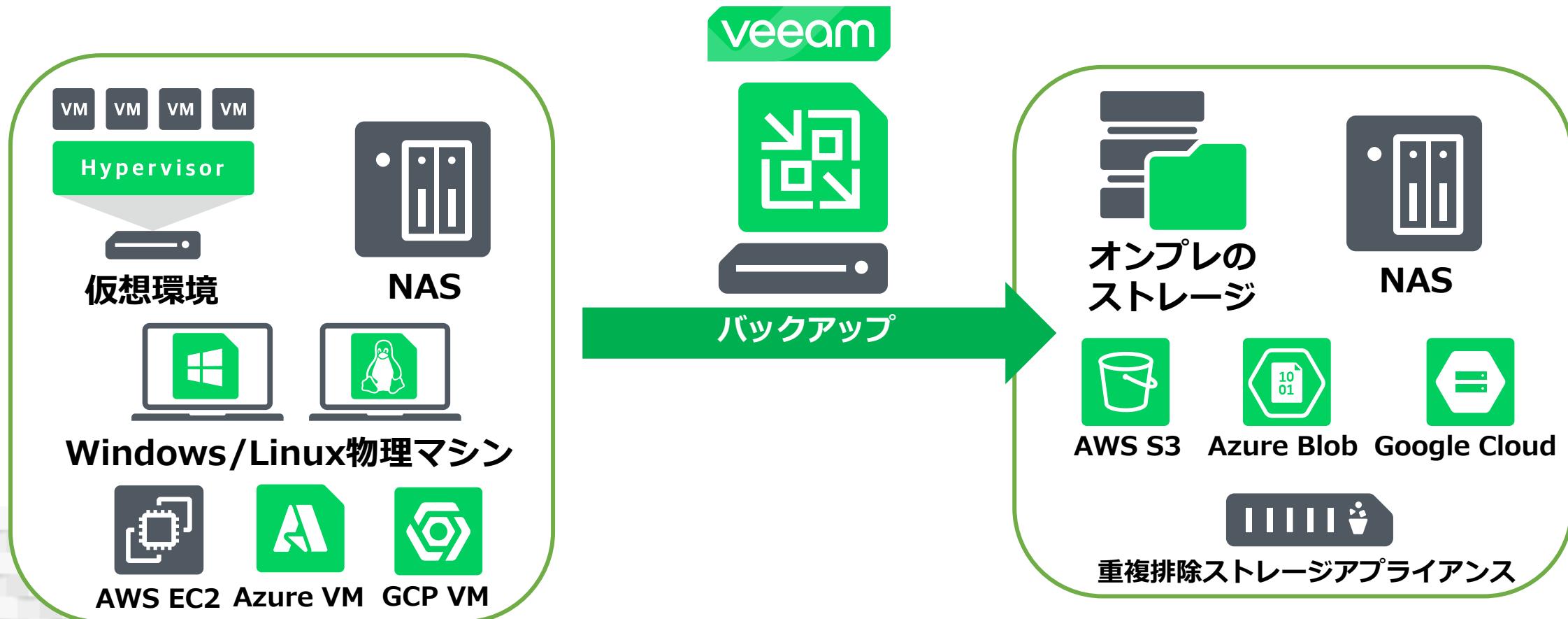
EXAGRID®

Tiered Backup Storage

 **wasabi**
hot cloud storage

 **Climb Inc.**
Growing to Meet Your Needs

バックアップ



2次バックアップ

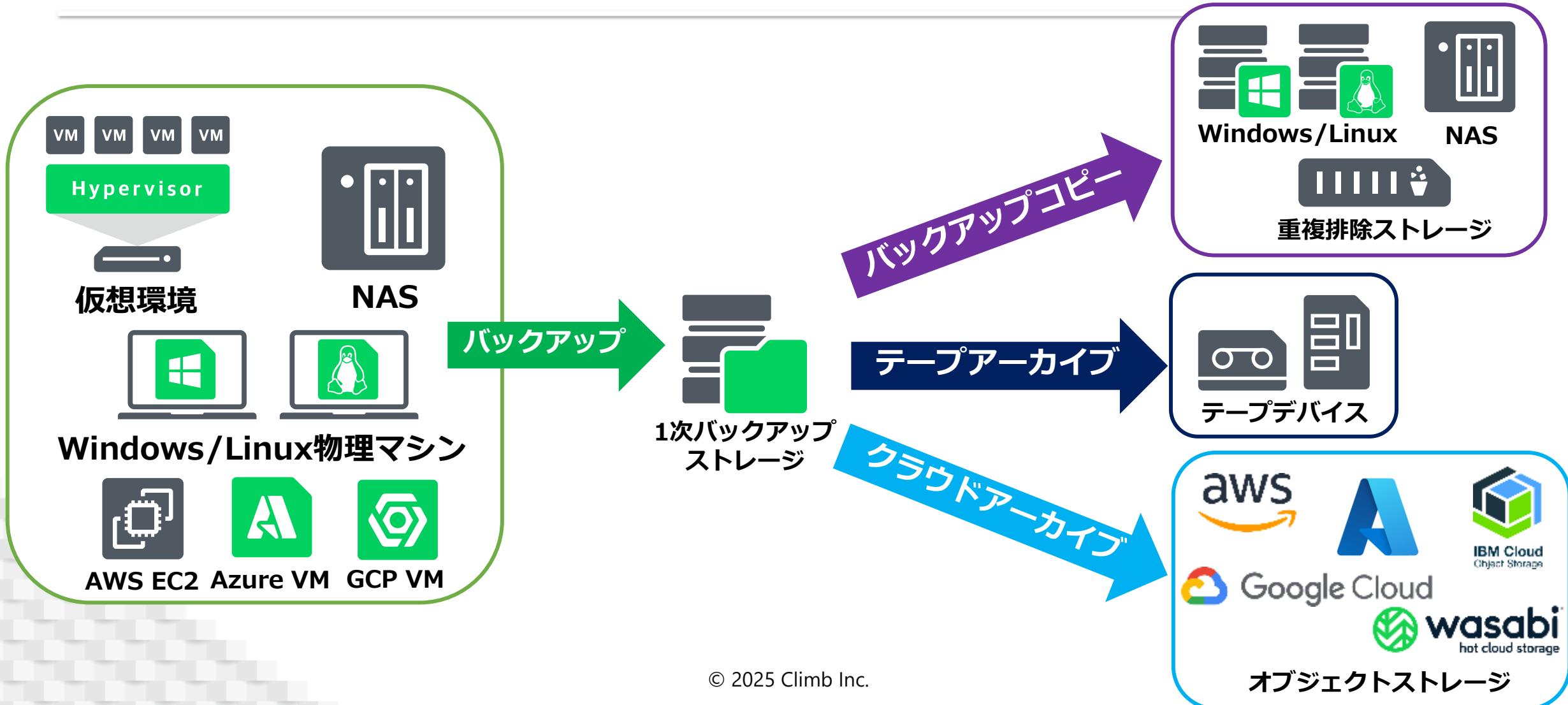
1次バックアップデータを**任意の別ストレージへコピー**

- 3-2-1-1-0ルールを実現
- GFS設定による長期保存

<アーカイブ先>

- 別ストレージ (DAS/NAS/重複排除ストレージ)
- テープ
- オブジェクトストレージ

2次バックアップ



リストア

- ・ イメージベースのリストア
 - マシン全体を元の or 別の環境へリストア
- ・ インスタントリカバリ
 - バックアップデータから直接VMを起動
- ・ ゲストOSファイルのリストア
 - ゲストOS上の特定のファイルやフォルダのみリストア
- ・ アプリケーションアイテムのリストア
 - 特定のアプリケーションデータをリストア

レプリケーション

別ホストに対して**仮想マシンの複製**(レプリカVM)を作成
→ほぼ無停止での復旧が可能

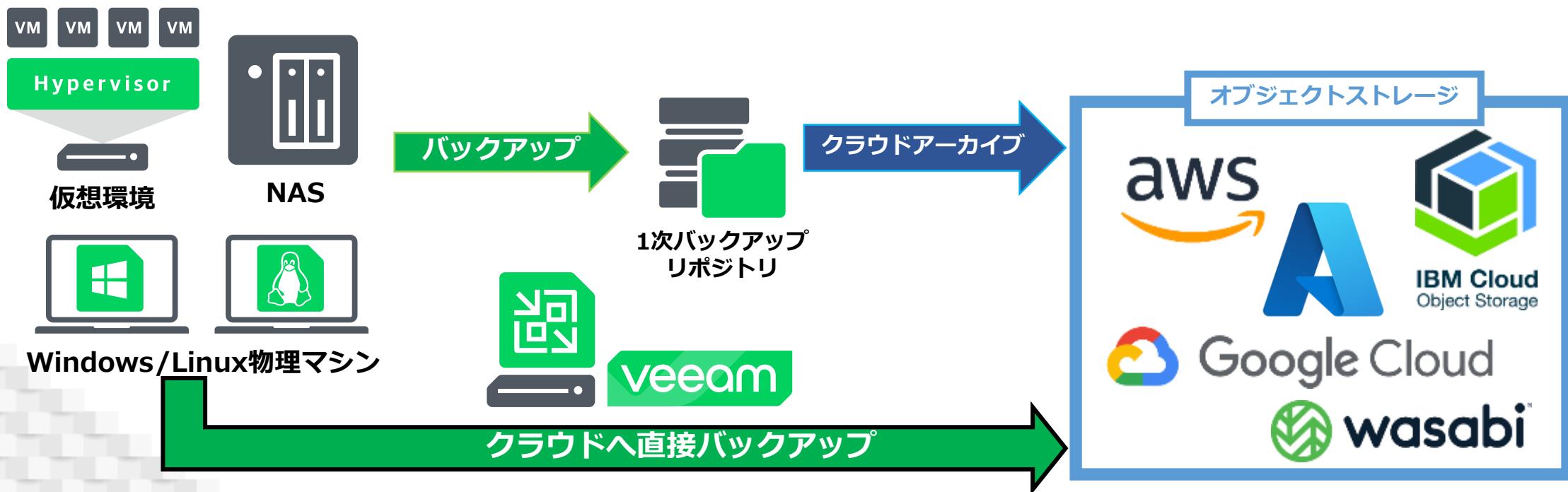


アジェンダ

- ・サイバー攻撃の概要
- ・ランサムウェア攻撃の現状とトレンド
- ・Veeamの主なデータ保護手法
- ・Veeamのランサムウェア対策機能

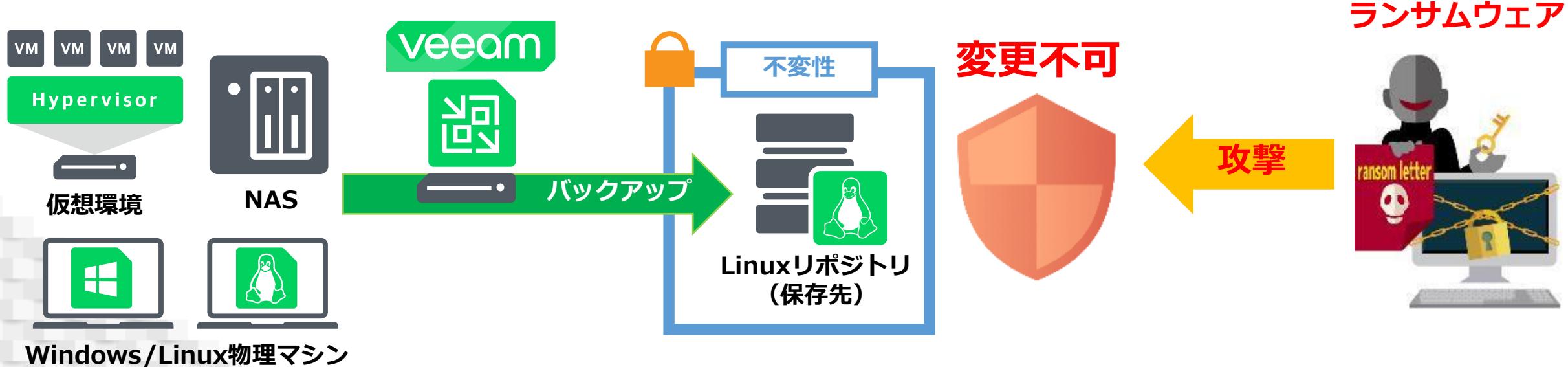
クラウドへのバックアップ

- ・オブジェクトロックと連携したイミュータブルバックアップ
- ・VPN等の構成不要



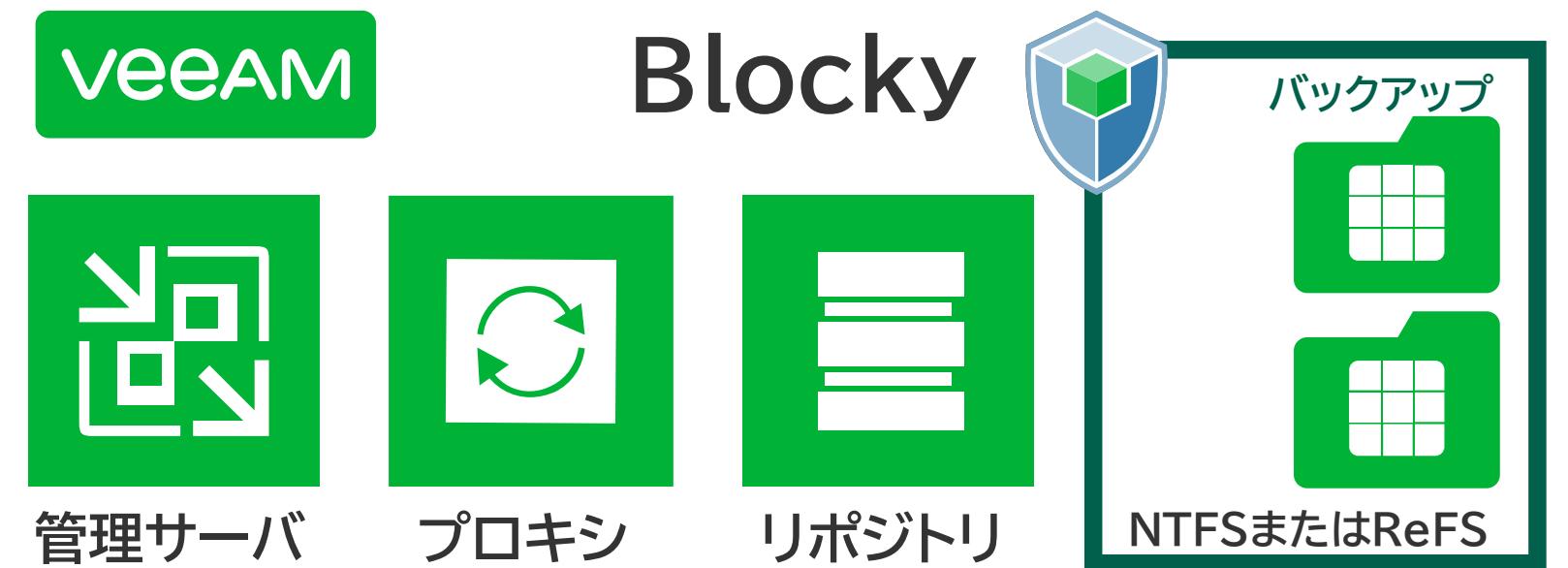
Hardened Repository(堅牢化リポジトリ)

- ・バックアップファイルに**不变属性**を付与
- ・シングルユース(使い捨て)認証情報の使用
- ・SSHプロトコルへの依存なし



Veeam + Blocky

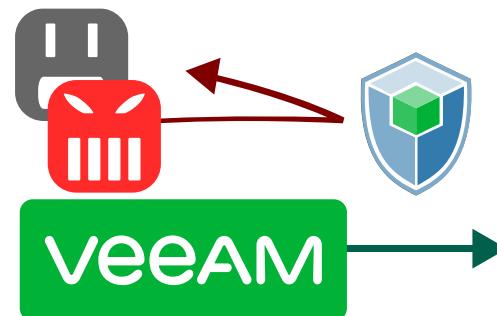
Windowsマシン1台でランサムウェア対策、ゼロトラスト構成



デフォルト拒否で、確実にブロック

アプリケーションホワイトリスト (AWL) アプローチ

→**Veeamだけを許可**して、システムアプリからのアクセスも拒否



許可アプリのみ
がアクセス可能



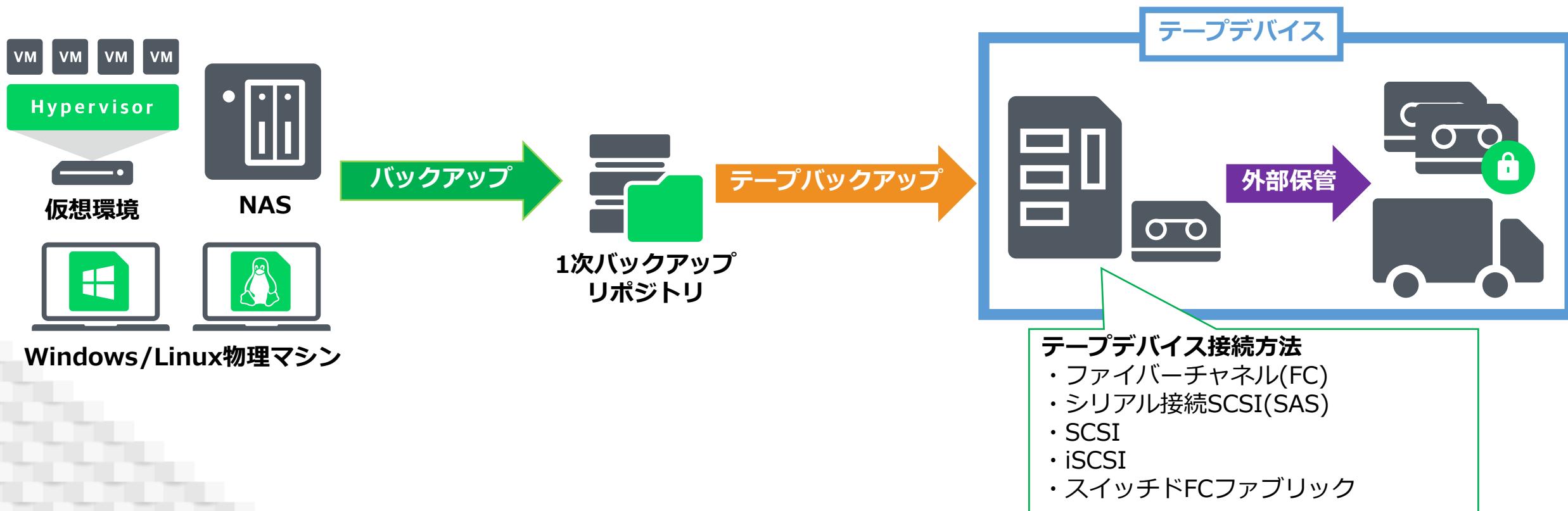
デフォルトで
アクセスを拒否



信頼中 心の
アプローチ

テープへのアーカイブ

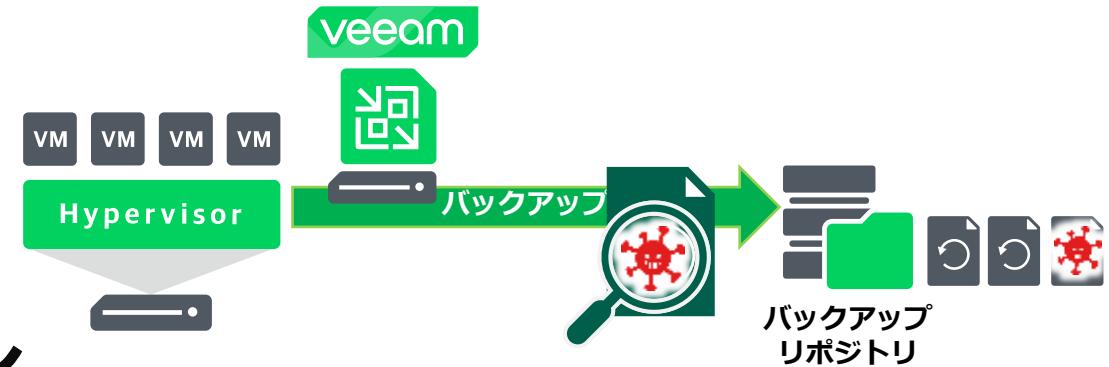
1次バックアップデータを**2次バックアップとしてテープへ保存**



ウイルス検知機能

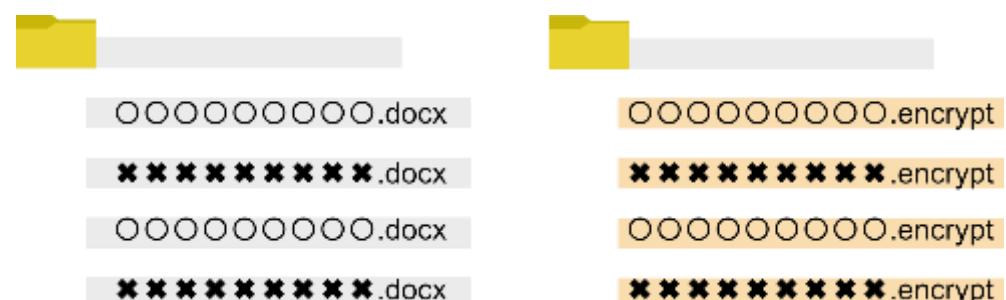
- ・オンラインスキャン

バックアップ時に処理したデータブロックをスキャンし、**マルウェアを検知**



- ・ゲストインデックスデータスキャン

バックアップ時に作成した**ゲストOSファイルシステムのインデックス**をスキャン



健全性検証

- **SureBackup**

隔離環境にVMを起動させることでバックアップの健全性検証

- **Scan Backup**

取得済みのバックアップデータに対してウイルスチェックを行い、
正常なバックアップを検知

- **セキュアリストア**

リストア前にバックアップをウイルススキャン

まとめ

- ・ランサムウェアによる被害は増加の一途
- ・バックアップデータも狙われる時代に突入

→運用環境だけでなく、**バックアップデータ自体の保護**が必要不可欠



Veeamを利用すれば、幅広い環境の**イミュータブルバックアップ**から**バックアップデータの健全性検証**まで実現